

がん検診ってどんなことをするの？

多くの「がん」の初期には**自覚症状がほとんどありません**。
だから、体調の異変を感じていない健康なあなたこそ、
定期的に検診を受けることが大事です。

検診の内容



胃がん検診
40歳以上
年1回

胃エックス線検査
バリウム(造影剤)と発泡剤
(胃を膨らませる薬)を飲み、
エックス線で胃の形や粘膜
を撮影します。



肺がん検診
40歳以上
年1回

胸部エックス線検査
肺全体をエックス線で
撮影する検査です。
喀痰細胞診(医師が必要と認めた場合)
痰にがん細胞が混ざって
いないか調べます。



大腸がん検診
40歳以上
年1回

便潜血検査
便の中の血液を調べ、大
腸内の出血の有無を調べます。



子宮頸がん検診
20歳以上女性
年1回

細胞診検査
子宮頸部(子宮の入口)の
細胞を採取して、顕微鏡で
診断します。



乳がん検診
40歳以上女性
2年1回

視触診
医師が乳房にしこりがな
いか診察します。
マンモグラフィ
乳房を装置ではさみ、圧
迫してエックス線撮影します。

《がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針》(国及び県)

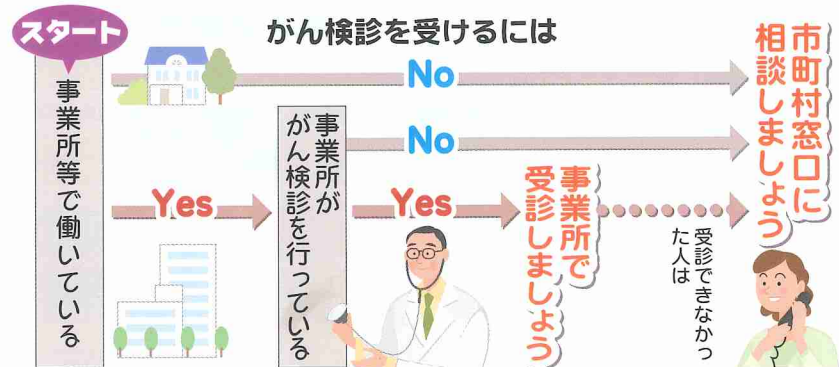
一般的な検診による放射線被ばく量(1回当たり)

胃エックス線検査:0.6mSv 胸部エックス線検査:0.07mSv 乳房エックス線検査(マンモグラフィ):0.075mSv
〔有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン〕:厚生労働省研究班 他)

自然界から受ける1年間の平均的な被ばく量:2.4mSv (国連科学委員会)

がん検診を受診するには

「検診内容」「費用」「対象年齢」などは、市町村で異なります。
詳しいことは、直接「職場」もしくは「お住まいの市町村」へお問い合わせください。



知ってましたか？

がん検診は健康な人が受けるものです



一緒に考えよう「がん」のこと

国民の2人に1人は「がん」になるといわれます
その1人は、あなたかもしれません

でも、大丈夫
「がん」は不治の病ではありません
早く見つけると、治る可能性が高いんです

その鍵は定期的な「がん検診」

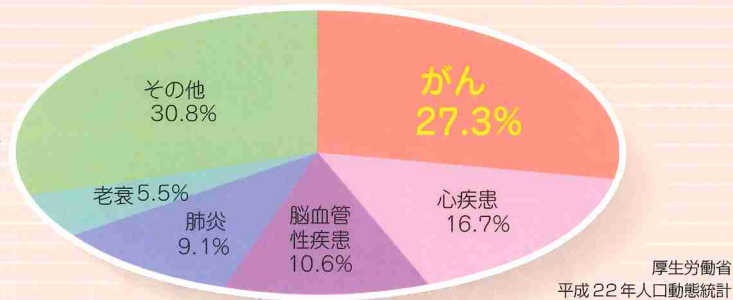
島根県健康推進課
TEL 0852-22-5060

「がん」はあなたの身近な問題です

～どれくらいの方が「がん」で亡くなっているの?～

島根県で平成22年に「がん」で亡くなられた方は、**2,488人**
死亡原因の第1位 約1/3を占めます

▼島根県死亡原因の割合（平成22年）



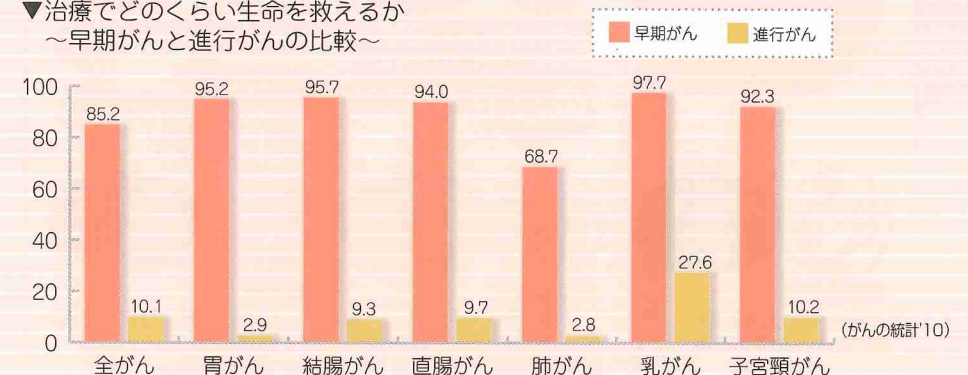
「がん」は不治の病ではありません

～早期に見つけると治せる病気です～

早期に発見するメリット

- 進行して発見した場合との「5年生存率*」が大きく異なる
- 治療費が少なくて済む

▼治療でどのくらい生命を救えるか
 ～早期がんと進行がんの比較～

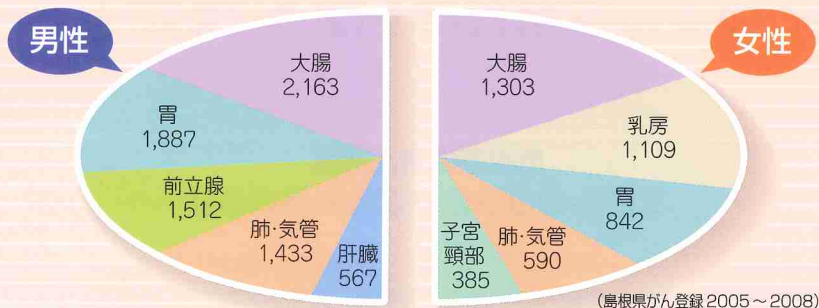


*5年生存率：あるがんを診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標
 *早期がん：がん細胞が最初にできた部位のなかでとどまっている状態
 *進行がん：がん細胞が最初にできた部位から、遠く離れた部位に転移している状態

どんな「がん」が多いの？

男性・女性ともに「大腸がん」が第1位
 女性の40～60代では「乳がん」が多い

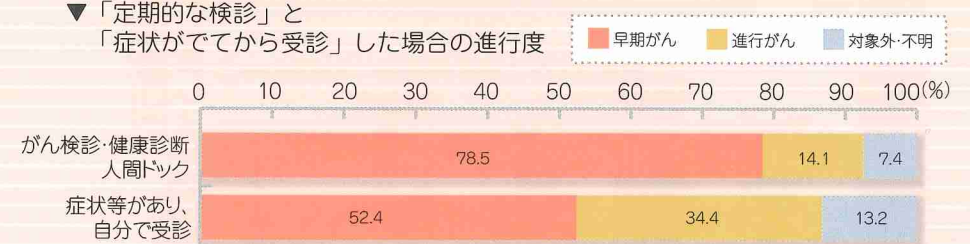
▼2005～2008年にがんと診断された人（全年齢）



「がん」を早く見つけるためには「定期的ながん検診」が大切です

がん検診などで発見される「がん」の7割は早期がんです

▼「定期的な検診」と「症状がでてから受診」した場合の進行度



(島根県がん登録2005～2008)